

「神戸の戦後生活史をめぐる映像資料を読む・見る・語る一戦災史資料の蓄積を新たに読み直すパブリック・ヒストリーの試み」

事業責任者 国際文化学研究科・教授・長志珠絵

□取り組みの概要・目的

戦後神戸の生活・生活空間資料として、特に画像・映像資料に注目し、戦災資料アーカイブを再整理① 生活空間の資料として読み解く② 市民に向けて/神戸空襲を記録する会ボランティアスタッフとの意見交換会③

「市民とともに読み解く神戸の戦後・戦災の記憶と記録
-映像資料から（その1）」2024年2月3日の録画より

戦略爆撃調査団：USBSS 報告書解説 佐々木和子さん（神戸大学）

映像-USBSS 神戸フィルムの上映 撮影手法と映像分析 衣川太一さん（映画資料館）

コメント USBSS 報告書が注目した神戸の防空壕 長志珠絵さん（神戸大学）

コメント 神戸空襲を記録する会の活動から 小城智子さん

神戸大学地域連携事業2023として取り組み、ビデオ化した録画をもう一度みんなで見ましょう。

この映像をもっと多くの皆さんに見てもらい、街や人の生活を紐解き読み解く試みを共有したいのです。

興味関心のある方のご参加を お待ちしています。

2024年11月2日（土）10時~12時

神戸映画資料館 長田区腕塚町5丁目5番1

アスタくにつか1番館北棟2階

主催：2024年度神戸大学地域連携事業「神戸の戦後生活史をめぐる映像資料を読む・見る・語る一戦災史資料の蓄積を新たに読み直すパブリック・ヒストリーの試み」（代表・長志珠絵） 主催：神戸空襲を記録する会

連絡先：神戸空襲を記録する会 080-1419-8208 小城

